

『ベーター麻機』

— 地域との連携、地域との共存、そして誰もが生涯にわたり安心して安全に暮らせる地域づくりを目指す —

麻機遊水地

昭和49年7月に発生した七夕豪雨を契機に遊水地等が整備され、流域の治水効果を高めています。

また、遊水地整備に伴い多くの動植物が生育・生息する湿地環境が形成されました。そのため、人と自然との良好な関わりを取り戻し、麻機固有の動植物の保全と再生を進めていきます。



麻機遊水地



ミスアオイ (VU)

病院・福祉施設

遊水地周辺には、静岡てんかん・神経医療センターやこども病院等が隣接しており、遊水地を患者さんのリハビリやリラクゼーションの場として活用していきます。



静岡てんかん・神経医療センター

学校

遊水地は、子供たちの環境学習の場としても活用され、身近に触れ合うことのできる貴重な自然環境となっています。また、遊水地に隣接する特別支援学校の障害を持った生徒にとっては、様々な活動を通じて生徒の職業訓練、社会参加を通して生徒の自立を目指します。



外来種駆除



北支援学校との協働作業

商業・その他施設

遊水地周辺には、流通センター等の商業施設が隣接しており、遊水地の価値を高める事で商業施設の活性化を図っています。

また、遊水地の自然環境保全や利活用においては、民間活力の活用も必用となっています。そのため、相互に連携することにより、地域の環境保全、地域の活性化を進めていきます。



静岡流通センター

ベーター麻機では、障害者や高齢者が安心して安全に暮らすことができるように、麻機遊水地の特性や自然環境を活用して、地域と障害者や高齢者との連携、農業、医療、福祉を通じて障害者の職業訓練、自立支援の場として活用し「施しより仕事を」実現していくことを目指します。

	麻機遊水地
	病院・福祉施設
	学校
	商業・その他施設
	住宅地
	農地
	歴史・文化施設

位置図



対象箇所

<対象箇所>
麻機遊水地を中心とした半径2km程度の地域と、それに隣接する第1工区北側の住宅地、山林を含む。

農地・山林

遊水地周辺の平地部は水田や蓮田、山の斜面部は茶畑やミカン畑として活用され、市街地に隣接した貴重な里地山環境を有しています。しかし、高齢化や後継者不足等により荒廃農地や放置竹林が増加しています。そのため周辺農地の保全や里山の再生、遊水地を活用した農業を展開し、これらの活動を医療や福祉、自然再生の面で活用するとともに、障害者の雇用を進めていきます。



周辺の蓮田



周辺の水田

歴史・文化

第3工区やその周辺部には、かつては浅畑沼を代表とする沼地が散在しており、現在も伝統的漁法の柴あげ漁の再現が行われています。また、浅畑沼にまつわる「沼のばあさん」の伝説も残されており、諏訪神社には「沼のばあさん」が祀られています。そういったことから、遊水地を地域の歴史・文化の継承の場として活用していきます。



柴あげ漁



諏訪神社

住宅地

第1工区の北側の住宅地では、高齢者の増加や住宅の空き家の増加などが心配されている。そのため、遊水地を中心に地域を活性化し、この地域ににぎわいを呼び戻すとともに、高齢者の憩い、交流の場として遊水地を活用していきます。

※1. 第1工区北側の人口：約9,000人 ※2. 病院の患者、職員数：約2,000人/日 ※3. 特別支援学校の生徒、職員数：約900人